

施政方針及び当初予算案

予算の説明に先立ちまして、令和6年度の町政運営に関する基本的な考えを申しあげた上で当初予算案と主要事業について説明申し上げます。

さて、現在、国会では来年度予算が審議されております。来年度の地方財政対策は、引き続き物価高への対応や少子化が深刻化する中、社会保障関係費の増大はもとより、こども・子育て政策の強化やデジタル化、脱炭素化・地方創生の推進、防災・減災対策等に係る歳出増を踏まえ、一般財源総額は、交付団体ベースで前年度比0.9%増の62兆7千億円が計上され、地方交付税総額は、1.7%増の18兆7千億円が確保されるとともに、臨時財政対策債は、過去最少の5千億円まで抑制して残高も大きく縮減されております。

また、危惧されたこども・子育て支援加速化プランの地方負担や地方独自のこども・子育て

支援事業の財源についても確保されるなど、地方の声が反映された内容となり、地方6団体から高く評価するとの共同声明が発表されています。

京都府におかれましては、去る2月7日に「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点から、「あたらしい京都づくり」を加速化するために必要となる予算として、令和5年度2月補正予算及び令和6年度当初予算を合わせた総額1兆44億円の予算案を発表されました。

京都府町村会におきましては、昨年11月30日に本会役員全員で西脇知事にお会いし、令和6年度京都府予算編成について180項目に及ぶ要望をさせて頂きました。

今回の予算案では、重点要望としておりました「きょうと地域連携交付金」につきまして、厳しい財政運営の中で、今年度と同額の19億円を堅持頂いたほか、『子育て環境日本一・京都』の実現につきましても、市町村の事業に

対する交付金制度を創設頂くなど、積極的な予算を計上頂きました。

我々、こういった国の予算、府の予算をしっかりと活用し、「明るく、豊かで、潤いのある町づくり」ええまちづくりに取り組んでまいります。

さて、昨年末、新聞紙上に社人研による 2020 から 2050 年の京都府内の推計人口が掲載されました。京都府全体で 50 万人減少、笠置町に至っては 1144 が 367 人、南山城村は 2391 が 933 人、伊根町は 1928 が 998 人、この 2 町一村は 1000 人を割るという、宮津市、京丹後市、与謝野町も半減するという。

26 年後の話とはいえ、あまり嬉しくない統計が示され、人口減少の危うさをあおっていた。記事の中には、何処かの議員の言葉を借りて、対応策としての道州制の導入を匂わせるものがあったが、それはお門違いというものです。

この人口推計は、当たっているようで、伊根町では当たっていません。先の第5次総合計画の人口推計では、平成22年の2410が、10年後、令和2年には1625になると予測された、しかし、実際は2000人台を保った、令和6年の今も1900台にある、26年後も1000人を割ることはないと思う。

いくら抗っても減っていくのは減っていく、それが現実であるが、その減り様を緩やかに持って行くのが地方創成である。そういう意味で、現在、伊根町が取り組んでいることが、10年後、20年後、さらにその先の人口となって表れると思う。

日本では、国も地域も人口を増やせと声高に叫ぶが、我々のような過疎地は、そんな声に耳を傾ける必要はないと思う。人口減少の数に捉われることなく、少数の人間が、新しい生き方を目指すのです。先進的かつ魅力的で、豊かな少数社会の構築こそが、我々の目標です。そこから、都市とは違う価値が育っていきます。

行く道は明確です。小さいながらも、この町に住むことに誇りを持ち、自然・景観・歴史・伝統・文化、そして地場産業を身の丈に合わせ総合的にプロデュースし世界に発信、交流人口・関係人口を倍増させ地域経済の好循環を生む、そして町民と行政の共同と和の精神で福祉の向上を図る、もって地域の振興・発展を図る、それを目指すことです。

令和6年度は、いよいよ定時制高校跡地活用計画も具体化いたします。跡地活用の目玉ともいえる商業施設の誘致に向け、1月30日に「伊根町とゴダイ株式会社との連携と協力に関する基本協定」が締結できました。広報2月号でもお知らせいたしました。新聞各社にも取り上げて頂き、町民の皆さまにも進捗状況について御理解頂いたものと思っています。令和8年4月の営業開始に向け整備を進めてまいります。

引き続いて保育の充実、定住促進住宅建設、そういった取り組みを順次進めていく計画であります。

また、農林水産業とコラボした観光振興、合わせてオーバーツーリズム対策、小学校の統廃合問題、高齢者福祉からインフラ整備まで、山積する課題に、一つ一つ丁寧に取り組んでまいります。

また、令和6年度は、昭和29年の伊根町町制施行から70年の節目となります。70周年を迎えるにあたり、記念式典や特別講演会を開催することで、町民をはじめ、伊根にゆかりのある人も含め多くの方々とともに、この大きな節目を祝います。

記念式典では参加者にとって70年の歩みを振り返ることや、未来の伊根町に思いをはせる機会となる内容とし、「伊根町」へのさらなる愛着や誇りが醸成されることを目指します。

記念式典を11月3日に開催するとともに、11月9日に料理研究家の「大原千鶴」さんを講師としてお迎えし、特別講演会を開催いたします。

そのほかの主要事業では、再生可能エネルギー活用型地域振興事業で、現在建設中の地域活性化拠点施設【筒川地区コミュニティセンター（仮称）】に太陽光発電設備等を設置します。また、町内の更なる再エネ電源開発と自家消費率を高める手法の検討を行います。

安全運転支援装置促進事業では、交通事故ゼロを目指すために自動車の急発進等に起因する交通事故の発生を防止するための自家用車の安全運転支援装置の設置を促進します。

60歳以上の町民の方を対象に、国土交通省が認定した「後付安全運転支援装置」の設置に係る経費の2分の1を助成します。

子育て支援事業では、子育て世代への支援をさらに充実させるため、保育所の午睡用（ごすいよう）寝具を町が用意いたします。

保育所用寝具の購入や毎週の洗濯などが不要となり、保護者の利便性の向上や負担軽減を図ることができます。寝具やおむつ（令和5年度から保育所準備）を持参しての登園が不要とな

ることで手ぶらで登園できる環境を整え、保護者と園児が手をつないでの登園を実現させます。

消防車両整備事業では、消防車両更新計画に基づき、消防車両を更新いたします。

近年の消防団員の自動車免許取得に係る環境の変化や管轄する狭小な道路に対応するため、昨年度に引き続き軽自動車のAT車で更新し、第1分団第2部に配属をいたします。

令和6年度の各主要事業によって地域の皆様の暮らしと安心安全の向上をすすめ、「ええまち・伊根町」の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

それでは、当初予算の提案説明に戻らせていただきます。予算書1ページを御覧ください。また、別刷の令和6年度伊根町当初予算（案）の3ページを併せてご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、35億3,900万円で、前年度と比較しますと、6,300万円 1.8%の増額です。

それでは歳入から説明いたします。一般会計は事項別明細書に詳細がございますのでそちらをご覧ください。12、13ページをお願いします。

町民税は、6,858万7千円で、前年比11万2千円の増額です。固定資産税は、7,423万7千円で、前年比12万3千円の減額です。町税全体では36万6千円、0.2%の増額です。

14、15ページを御覧ください。

地方交付税は、16億5,190万円で、5,990万円の増額を見込みました。地方財政計画における地方交付税総額は、0.3兆円、1.7%の増となり、また、臨時財政対策債の抑制、本町の過疎債償還額の伸びを勘案した上、一定の留保財源の確保も含めてこの額といたしました。

16、17ページを御覧ください。

分担金及び負担金は、全体で1,086万2千円です。前年比258万円、31.2%の増となっています。急傾斜地崩壊対策事業分担金の増額が主な要因です。

使用料及び手数料は、総額1億6,309万6千円

で、前年比3,430万6千円、26.6%の増額です。おもな増額の要因は公共残土処分場使用料などです。

18、19ページを御覧ください。

国庫支出金は、3億2,945万7千円、前年比7,620万7千円、30.1%の増額です。エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金の増額などによるものです。

20、21ページを御覧ください。

府支出金は、2億971万9千円、前年比2,664万3千円、11.3%の減額です。子育てにやさしいまちづくりモデル事業補助金の減額などによるものです。

24、25ページを御覧ください。

財産収入は、1,188万8千円、前年比45万6千円、3.7%の減額です。

26、27ページを御覧ください。

寄附金は、2,330万円で、前年比450万円、23.9%の増額です。

繰入金は、4億1,672万5千円、前年比2,004万1千円、4.8%の減額です。主な繰り入れの目的

は、起債償還分の減債基金繰入、公共事業財源として残土処分場管理基金からの繰り入れなどです。

28、29ページを御覧ください。

繰越金は、2,000万円の前年度同額です。

諸収入は、7,856万円、前年比4,230万6千円、115.3%の増額で、デジタル基盤改革支援補助金の増額によるものです。

30、31ページを御覧ください。

町債は、3億9,020万円、前年比1億1,590万円、22.6%の減額で、公共残土処分場建設による一般単独事業債の減額によるものです。

自動車取得税交付金は、1千円の計上です。

次に歳出です。 32,33ページを御覧ください。
別刷りの方は、2ページを御覧ください。

議会費は、4,923万2千円、前年比424万9千円、9.4%の増額。（職員人件費の変動。育休職員の減少の影響）

続きまして、総務費です。34,35ページを御覧ください。総務費全体では、6億4,479万円、前年比1億3,820万2千円、27.3%の増額です。

主な増額要因ですが、庁舎管理費で長寿命化計画に基づく庁舎の外壁塗装工事を計上したほか、企画費で前年比5,873万6千円の増額で、主なものは再生可能性エネルギー活用型地域振興事業の増額、分校跡地活用事業の計上です。

そのほか電子計算費で4,172万円の増で、デジタル庁が推進している自治体業務システムの標準化、共通化の経費によるものです。

58、59ページを御覧ください。

次に民生費ですが、6億597万7千円 前年比4,235万8千円 7.5%の増額です。主な要因は、児童福祉費で、伊根小学校の放課後児童クラブ用の専用施設を建設するものなどです。

76、77ページをお願いします。

衛生費は、2億8,813万2千円 前年比 5,322万4千円 22.7%の増額です。診療所勘定繰出金の増額、バキュームカーの更新などが主な要因です。

88、89ページをお願いします。

農林水産業費は、4億5,195万6千円で、前年比2,064万6千円 4.4%の減額です。

農業振興費で、伊根町産米ブランディング事

業が完了したことなどによるものです。

次に商工費です。96、97ページを御覧ください。

1億2,602万円で、前年比1,116万3千円、9.7%の増額です。観光費で、平田地区の渋滞緩和対策を強化するほか、滞在型体験観光まちづくり事業で利用増加に伴って運営経費が増額しているものなどです。

102、103ページを御覧ください。

土木費は、3億5,911万4千円 前年比1億8,728万8千円、34.3%の減額です。

公共残土処分場の拡大事業に伴うダム形式の防災調整池整備が完了したことによる減額です。道路整備事業では、亀島本庄浜線の防災工事を継続して実施するもののほか、地区要望に基づいた道路整備計画に従った事業を計画しています。

110、111ページを御覧ください。

消防費です。1億1,087万1千円、前年比342万7千円、3.2%の増額です。

非常備消防費の消防設備維持管理事業で、消防車両更新計画に基づき、前年度に引き続いて多機能型小型動力付ポンプ積載車（軽自動車）を整備、第1分団第2部に配属するものです。

114、115ページを御覧ください。

教育費は、3億5,396万1千円 前年比1,215万6千円 3.3%の減額です。 ほっと館の改修工事の完了、筒川コミュニティセンターの外構工事などが増減の主なものです。

138、139ページを御覧ください。

公債費は、5億4,464万4千円で、前年比3,034万6千円 5.9%の増額です。

予備費は、430万3千円を計上しました。

議案第2号 令和6年度伊根町国民健康保険特別会計予算 です。

147ページをご覧ください。以後の特別会計の総

額は、別刷りの1ページを御覧ください。

なお、特別会計は総額と主なもののみの説明とさせていただきます。

事業勘定の歳入歳出予算の総額は、3億8,458万6千円で、前年比372万8千円 1.0%の増額です。

伊根診療所勘定の歳入歳出総額は、9,690万6千円で、前年比1,112万6千円 13.0%の増額です。

本庄診療所勘定は、歳入歳出総額は、7,243万8千円で、前年比1,374万6千円 23.4%の増額です。

148、149ページを御覧ください。

事業勘定は、財政運営主体である京都府からの通知額をもとに、医療分は財政調整基金を活用した前年据え置き、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、府からの通知に基づいた額を計上しております。

次に伊根診療所勘定です。

172、173ページを御覧ください。

長年の懸案でありました常勤の医師を次年度から採用することができ、その人件費と、医薬品分包機

の購入による歳出の増額、これに伴って歳入では一般会計からの繰入金が増額となっています。

続きまして、本庄診療所勘定です。

190、191ページをご覧ください。

伊根診療所の所長が本庄診療所の所長を兼任することから、医師人件費の一部を本庄診療所勘定でも計上しています。診療収入の減少見込みもあり、一般会計の繰入金が増額しています。

議案第3号 令和6年度伊根町財産区特別会計予算です。

207ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ104万5千円で、13万5千円 14.8%の増額です。残土処分場用地貸付料の増加によるものです。

議案第4号 令和6年度伊根町介護保険特別会計予算です。

219ページをご覧ください。

保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ4億6,176万円で、前年比486万円 1.1%の増額です。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ140万円で、前年比3万9千円2.9%の増額です。

220、221ページをご覧ください。

歳入は、歳出見込みに対する財源を法令に基づき積算したものです。

歳出は、被保険者数や前年度給付実績見込み等に基づいた給付費を計上しています。直近の実績見込みを反映させるなどして実際の給付額に近い予算となるよう積算いたしました。

254、255ページをご覧ください。

介護サービス事業勘定は、歳入として見込めるケアプランの作成業務をサービス収入に計上し、次のページの歳出では、1款 総務費でケアプラン作成に係る人件費などのほか、2款 事業費でケアプランを外部委託する経費を計上しています。

議案第5号

令和6年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 です。

265ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ2,070万円で、前年比550万円、21.0%の減額です。

診療所と兼任の看護師の勤務比率等により人件費割合を変更したことで減少となっています。訪問看護サービスは、前年度と同規模の提供を計画しております。

議案第6号

令和6年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算です。

279ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 4,476万5千円で、前年比124万3千円 2.9%の増額です。

前年度と概ね同様の歳入歳出を計画しております。

議案第7号

令和6年度伊根町簡易水道事業会計予算 です。
293ページをご覧ください。

令和6年度から公営企業法を適用するため、事業会計予算となっております。

収益的収入は、8,892万5千円、収益的支出は、9,105万1千円です。次のページをお願いいたします。

資本的収入は、7,228万3千円、資本的支出は、1億702万1千円です。

議案第8号

令和6年度伊根町下水道事業会計予算 です。
321ページをご覧ください。

下水道事業につきましても令和6年度から公営企業法を適用するため、事業会計予算となっております。

収益的収入は、9,479万8千円、収益的支出は、1億412万2千円です。次のページをお願いいたします。

資本的収入は、6,174万5千円、資本的支出は、8,812万9千円です。

以上当初予算の説明とします。

令和6年度も、今あるものを最大限に活用するためのしくみづくりを主眼にした事業を進め「ひと・

まち・くらし・しごと」の全てが輝く「ええまち・伊根町」の実現に向け頑張ります。

議員各位をはじめ、町民の皆様のなご一層の御理解と御支援、御協力を心からお願い申し上げまして、私の施政方針と当初予算の提案説明とさせていただきます。